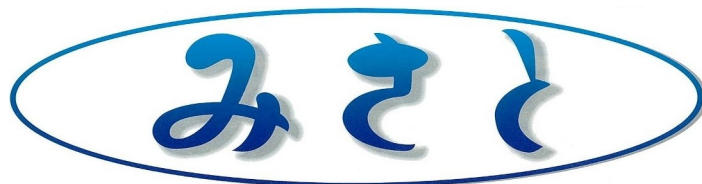




地域だより「みさと通信」は、年4回の発行（次号は10月1日発行です）



地域だより「みさと通信」



令和2年7月1日発行
第65号 夏 summer quarter

編集発行／
津市美里総合支所
地域振興課
☎ 279-8111



ご入学・ご入園おめでとうございます

4月7日、みさとの丘学園で入学式が行われ、16人の児童が入学しました。担任の先生につづいて体育館に入場した新入生。緊張しながらも、名前を呼ばれると大きな声で返事をしてきちんとお辞儀をしました。校長先生から「みなさんが入学してくるのを楽しみにしていました。元気で仲良く楽しく学校生活を送りましょう」とお祝いの言葉を受けた子どもたちは、希望に満ちあふれた逞しい表情をみせてくれました。



4月8日、みさと幼稚園で入園式が行われ、9人の子どもたちが仲間に加わりました。一人ひとり名前を呼んでもらうと、恥ずかしそうにしながらも元気にお返事ができました。「グーチョキパーでなにつくろう」の手遊びをしたり、「チューリップ」の歌をうたったりもしました。

これから3年間、たくさんのお友達といっしょに楽しく幼稚園で過ごしましょうね。





進級おめでとう スタートアップセレモニー

(4月6日)

みさとの丘学園で、ステップステージに進級した5年生33人・ジャンプステージに進級した7年生33人のスタートアップセレモニーが行われました。進級した児童生徒が整列し、代表者が誓いの言葉として、誇りを持ってみさとの丘学園をつくっていく決意と保護者の方への感謝の気持ちを伝えました。7年生は新しい制服に身を包み、進級した証としてネクタイ・リボンを着用すると、一層引き締まった表情を見せてくれました。

校長先生からは「おおきなかぶ」のお話を例に、ほんの少しでも、もう少し頑張ったらきっとうまくいくと信じてあきらめずに頑張してほしい、真面目にコツコツ頑張って自分を成長させてほしいとお祝いの言葉をいただきました。



「旧小学校施設」をもっともっと有効に活用しよう！

4年目の「みさと」が始まりました

(4月24日) 第4回みさと定期総会が開催されました。「新型コロナウイルス感染症対策」から、過去3年間の活動を継続していくことが難しい状況での総会でしたが、長野、高宮、辰水の旧小学校のさらなる有効活用について未来志向での話し合いが行われました。昨年度は、各学校で、演劇の上演やカフェの開設、コンサートの開催等、地域のランドマークとして「集いの場」としての定着が進んできています。それぞれの活動での財源の確保や人材の確保が課題ですが、今後も活動の充実を誓い合う場となりました。



麦秋・・・6月の美里は麦の収穫

減反による転作作物として麦が作付されています。こうした光景はもう珍しいものではありませんが、麦づくりは、5月下旬から6月にかけて「麦秋」（麦の収穫の時期）を迎えます。足坂営農組合（宮村茂組合長）では今年、約8haの作付けをしています。作付しているのは「あやひかり」という品種だそうで「伊勢うどん」の原料となり、美里産小麦は三重県の特産品に生まれ変わっていきます。

麦秋が過ぎると本格的な夏になっていきます。美里は農家のみなさんの活動が季節の移り変わりを教えてくれますね。



「水源の森」を歩いてみませんか・・・

南長野地区内にある、三重県の森と緑の交付金を活用して整備された「津市美里水源の森」をご存知ですか？広さ8haの中に、約1.8kmの散策道が敷かれています。中山間の美里といえども森の中をゆっくり、気軽に歩いて木々に触れることが出来る場所はほかには見られません。森の中には、大きな東屋があり、休憩も安心です。

実は、この森は、津市の水道水を支える「水源涵養の森」で、長野川流域の7つの自治会が中心となった「長野川流域環境保全協議会」が管理をし、いろんな活動をしている森でもあります。「楽しく水と森のことを体験学習できる森」が美里にはあります。ぜひ一度は、歩いてみてください！





津市健康づくり推進員 美里支部「ラブミーくらぶ」のご紹介

津市では、健康に関する知識を学び、自らが健康に、さらに市民の皆さんやご家族、ご友人にも健康づくりを広げていく担い手として、健康づくり推進員を養成しています。年間を通して、健康づくりに関する普及・啓発活動、会員研修会、自主活動などを実施しています。

今年度は、各支部の健康づくり推進員にご協力いただきそれぞれの地域の2～3km程度で気軽に周れるウォーキングマップを作成予定です。

美里支部として活動している「ラブミーくらぶ」も昨年10月、地域をウォーキングしながら見どころや安全面での配慮が必要なところなどを確認しました。ウォーキングマップは現在作成中ですので楽しみにお待ちください。

健康運動実践指導者による
ウォーキング前の注意点の確認



今年度の活動予定につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い未定ですが、状況に応じて検討していきます。

永福寺周辺を散策

お問い合わせは美里保健センターまでお願いします。
電話 279-8128



今年の「美里夏まつり」は開催を中止します

美里の夏の風物詩、「美里夏まつり」は、「新型コロナウイルス感染症対策」に鑑み、令和2年度の開催は中止とさせていただきます。

来年は「美里にたくさんの人が集い、みんなが楽しめるイベントの開催」が実現できることを目指して、引き続き計画、準備をしていきますので、皆様におかれましては、今後ご理解、ご協力の程よろしくをお願いします。

美里まつり実行委員会



美里地域のために、ご尽力いただきます

●令和2年度自治会長 【 】内は地区名(敬称略)

【五百野】平田 正	【足坂】辻岡 泰彦	【三郷】服部 勝	【南長野】倉岡 雅
【北長野】尾川 秀郎	【細野】杉本 孝夫	【平木】谷田 道一	【中野】杉田 壽美生
【桂畑】中西 正博	【家所】稲垣 法重	【穴倉】若林 茂樹	【高座原】朝倉 敬博
【日南田】福山 茂樹	【船山】寺坂 行雄	【長谷山ハイ1】平井 龍治	【長谷山ハイ2】児玉 吉孝

美里図書館からのお知らせ

☎279-8122

●開館時間 9時～17時

●休館日

毎週火曜日

毎月最終木曜日(館内整理日)

※臨時休館を予定しておりました7月18日(土)は、美里夏まつりが中止となりましたので、開館いたします。

●おはなし会 (7月～9月)

とき 7月 9日(木) 15時～ なり☆プロ

7月29日(水) 10時30分～ どんぐり

※7月29日は、美里図書館おはなしコーナーで開催

8月 6日(木) 15時～ なり☆プロ

9月10日(木) 15時～ なり☆プロ

ところ 美里文化センター 2階 学習室





美里保健センターからのお知らせ



< 健診・がん検診等のお知らせ > ～ 年1回、検診(健診)を受けましょう ～

日 程	特定健診 (※1)	後期高齢者健診	胃がん検診(X線)	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診 (マンモ)	肝炎ウイルス 検診	前立腺がん 検診	胸部レントゲン(※2)	
	申し込み必要 (三重県健康管理事業センター ☎059-221-5115)								肺がん検診	結核健診
9月28日(月)9時～11時	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●
9月28日(月)13時30分～15時	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-

◆ **申し込みは、8月28日(金)から**始まります。

◆ **申し込み先は、三重県健康管理事業センター(☎221-5115)**へお願いします。

・結核健診は、申し込み不要ですが、受診前に健診の実施状況をご確認ください。

◆ **会場は、美里保健センター**です。

◆ 健診、がん検診の予約、受診の際には、**受診券**が必要です。受診を希望される方で、受診券をお持ちでない場合は、下記へご連絡ください。

◆ 健診、がん検診については、**協力医療機関**でも受診可能です。

◎ 詳細については、受診券に同封されるお知らせまたは広報津7月1日号と同時期に配布の『津市がん検診と健康診査のご案内』(冊子)をご覧ください。

(※1) 特定健診とは、津市国民健康保険に加入中の40～74歳の人を受けられる健康診査のことです。

(※2) 65歳以上の人は、肺がん検診か結核健診のどちらかの選択となります。

【お問い合わせ】

< 特定健診 > 津市保険医療助成課 保険担当 ☎229-3317

< 後期高齢者健診 > 津市保険医療助成課 後期高齢者医療担当 ☎229-3285

< がん検診等 > 津市美里保健センター ☎279-8128

○ 掲載の内容について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更または中止となる場合があります。最新の情報は、美里保健センターまでお問い合わせください。

○ 発熱や風邪症状のない時に検(健)診を受診しましょう。また、感染予防のためにマスクを着用して受診しましょう。

みなさんへのお願い

新型コロナウイルス感染症は、発熱や咳などの症状が出なかったり、軽症の人であっても、他の人にウイルス感染を広げる例があります。感染症対策には、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。みなさん一人一人が自分だけは大丈夫という考えではなく、あなたと大切な人の命と健康を脅かすことのないよう、感染対策をより一層徹底していくことが大切です。国が示す「新しい生活様式」である、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、咳エチケットの徹底、こまめな換気や自身の健康チェックなどを日常的にご家庭や職場、地域において積極的に取り組みましょう。

あなたと大切な人の命と健康を守れるよう、地域で一丸となって声を掛け合い、今一度あなた自身の感染対策を見直してみましょう。

